

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年 1月 18日

1. 職名・氏名 准教授・國崎大恩

2. 学位 学位 修士（人間科学）、専門分野 教育学、授与機関 大阪大学、授与年月 2006年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ・教育原理（2単位）1年次 ・教師論（2単位）1年次 ・教育社会学（2単位）1年次 ・教育史（2単位）1年次 ・導入ゼミ（2単位）1年次 ・教育実習（3単位）3～4年次 ・教職実践演習（2単位）1年次 ・日本の文化と社会（オムニバス）（2単位）1～3年次 ②内容・ねらい 教職課程の科目においては、文部科学省より指定されているコアカリキュラムをふまえた授業内容とし、学校教員として最低限必要となる知識・技能の習得をねらいとして授業を実施した。 導入ゼミについては、学校教育の慣例を批判的に考察することを主な授業内容とし、ディスカッションやレポート作成等の大学生活にとって必要となる知識・技能の習得をねらいとして授業を実施した。 日本の文化と社会においては、「もののけ姫」の読解を通して日本の文化と社会について考察することを主な授業内容とし、教育学的観点から日本の成長観の変遷について概説するとともに全体のとりまとめ教員としてオムニバス授業全体の内で4コマの授業を実施した。 ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学校教員としての勤務経験を活かして授業内容をできるだけ学校現場と結びつけて話すこと、LMSを利用した毎回の授業内容のまとめレポートを提出させること等、専門的な授業内容を学生が理解しやすくなるよう工夫をした。 また、遠隔授業時においてもディスカッションや発表を適宜取り入れ、知識を身につけるだけでなく、身につけた知識を活用できる場を設定することで授業内容の理解を促す工夫をした。
(2)その他の教育活動
内容 ・教員採用試験の受験希望者に対する筆記試験・面接試験の対策

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	
1.『教育のアイデアー教職・保育士を志す人のために 改訂版』、共著者有（担当箇所：第8章「社会教育・生涯学習」）、2020年、昭和堂	
2.『民主主義と教育の再創造ーデューイ研究の未来へ』、共著者有（担当箇所：第3部第17章「教育課程における科学」）、2020年、勁草書房	
	【2本】
②学術論文（査読あり）	
* 1.「インフエンス論再考：語りえぬ他者として捉える視座をこえて」、共著者無、福井県立大学論集(53)、2020年3月	
2.「Society and community engagement in Japanese universities: A government-funded university childcare support project」、(高松邦彦、 <u>國崎大恩</u> 、濱田道夫、伴仲謙欣、三浦真希子、澤村暢、他)、神戸常盤大学紀要(13)、2020年3月31日	
	【2本】
③その他論文（査読なし）	
* 1.「教養教育における一般教育科目の充実が果たす役割とその課題ー福井県立大学の事例を通してー」、共著者無、大学教育研究フォーラム発表論文集、2020年3月	
	【1本】
④学会発表等	
* 1. 教養教育における一般教育科目の充実が果たす役割とその課題ー福井県立大学の事例を通してー、第26回大学教育研究フォーラム（2020年3月）、共同報告者無	
	【1件】
⑤その他の公表実績	
	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

⑥公開講座

1. 「感染症・人類・社会4」、福井県立大学、12月15日18時30分～20時

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・教職課程部会（2019年4月～現在に至る）
- ・研究・広報委員会（2019年4月～現在に至る）
- ・大学案内作成ワーキンググループ（2019年9月～現在に至る）
- ・オープンキャンパス実務ワーキンググループ（2020年4月～現在に至る）
- ・WEB授業ワーキンググループ（2020年4月～現在に至る）
- ・ハイブリッド授業運営ワーキンググループ（2020年9月～現在に至る）
- ・水産増養殖学科新設に伴う教職課程認定の申請作業（2020年10月～現在に至る）

(3)学内行事への参加

- ・オンラインオープンキャンパス（7月19日）

(4)その他、自発的活動など